



# 円空さといも

## コロンとまんまる もっちり粒ぞろい 中濃白慢のブランド



清らかな水と豊かな自然が育む岐阜の農産物と生産農家を紹介するシリーズの7回目は中濃地域特産の「円空さといも」です。その「コロン」と丸い形と、煮崩れしにくいもっちりとした粘りが特徴で、味も抜群。JAめぐみの中では中濃を代表するブランド食材に育てようと地域一丸となって取り組んできました。生産者の一人、篠田権三さん(関市)を訪ね、円空さといも栽培のこだわりを聞きました。

関市側島  
篠田権三さん



煮物をはじめ、おでんなどでも美味しく食べられる円空さといも。カレーに入れても美味しいと話す生産者の篠田さん

### 自然豊かな中濃地域は さといも作りに最適

「味も形も良く、広く名前も知られてきました」と掘り出した円空さといもを手取る中濃里芋生産組合の組合長篠田さん。さといも作りに取り組んだのは10年ほど前でした。

「さといもは収穫が11月から3月までだから、稲作と時期がずれていてちょうどいい」と話す篠田さん。JAめぐみの協力のもと、県の中濃農林事務所や商工会議所と一緒に振興プロジェクトを行い、円空さといもというブランドがこまごまと育ちました。篠田さんの約20アールの畑では年間約57トンのさといもを出荷しています。

生産者は現在、関市で52人、美濃加茂市で14人ほど。円空さといもが作られたのは昭和58(1983)年ごろ。元となっていたのは「八名丸」という愛知県の品種で、栽培していたさといもの中から丸くて大きいものをつける株の選別を繰り返して、まん丸で粒ぞろいのさといもが誕生。その形が関市と縁が深い円空仏に似ていることから円空さといもと名付けられました。

平成7(1995)年、中濃里芋生産組合が設立され、平成15(2003)年、ブランド化をはかるため「円空」の名前で商標登録を取得。平成23(2011)年12月から、産地振興プロジェクトがスタートしました。

### 手作業で行う芽・茎取り 厳しい検査で良い形を守る

円空さといもの特徴を篠田さんは「もっちりとした粘りに加え煮崩れしにくく、味もおいしい。今は需要の方が供給量より多いから、もっと生産量を増やしていきたいですね」と話します。しかし、選ばれた種芋を使い、厳しい検査を通ったものだけが円空さといもを名乗ることができるため、生産量を増やすことは容易ではありません。

篠田さんは省力化と収穫量増加のために、全期間マルチ栽培に取り組みたいです。雑草を防ぎ、土壌の乾燥防止

本広告に関するご意見や感想をお聞かせください。抽選で「JAめぐみの加工品セット」をプレゼント!



「いちごピッセ」(5個入り)、桃太郎マトが入ったスープ(4食入り)、円空さといもが入ったポタージュ(180g)×2、ひとくちキウイ(22g)×2、「ひるがの高原たいこんドレッシング」、「めぐみの玄米」(500g)、「いちごつぶつぶジャム」(200g)のセット

①郵便番号・住所②氏名③電話番号④紙面に関するご意見を明記して下記の方法でお申し込みください。  
【はがき】500-8577(住所不要)  
岐阜新聞 広告局  
「ぎふの農業人」係

1月19日(金) 必着  
※個人情報(賞品発送)において使用し、適正に管理します。  
※当選者の発表は、賞品の発送(翌月予定)をもってさせていただきます。

### 生産者全員が一体となり 生産ルートを整備

JAでは、生産組合と協力して後継者を育てる就農塾「さといもコース」を開催。塾生の中には女性も参加しています。また、さといもはトラクターと土を寄せる小さい機械があれば栽培が可能。そのため、マルチを張る機械とともに組合のオペレーターと一緒に派遣し、新たにさといもづくりを始めたといえる農家も少しずつ増えています。

他にもJAと生産組合が連携してブランド化を推進し、催事や農業祭で円空さといもをアピールするとともに、昨年から県の中濃農林事務所がさといもの毛羽取りと調製作業を福祉事業者に委託する制度を開始。障害者福祉施設で技術習得支援を行い、さといも農家の負担軽減と障害者の自立を助ける農福連携も始まりました。これらの取り組みをさらに広げて生産者の負担を軽減し栽培面積を拡大していくことで生産量を増やし、円空さといもをよりたくさんの人に味わってもらえるよう、努力が続けられています。



葉が上に向かって真っすぐ伸びるのが特徴



円空さといもの生産に携わるみなさん

### JAめぐみの組合長 山内清久氏から

5市2郡からなるJAめぐみの管内は岐阜県のほぼ中央に位置し、面積は県土の約23%を占める2500平方km。米、野菜、果樹、茶、食肉など多くの特産物があります。「就農塾」「トマトの学校」など担い手育成とともに、農業所得増大の実現に向け情報提供や相談機能を充実。営農担当と融資担当職員が連携し、資金需要に幅広く対応できる経営支援を行っています。また、農産物の付加価値を高めるため加工品の研究に取り組み、「めぐみのプライベートブランド商品」を開発。六次産業化を推進しています。JAめぐみのは今後も地域密着型金融機関として、農業振興活動と地域活性化に邁進して参ります。



## 耕そう、大地と地域の未来。

豊富な水と、水はけの良い土壌  
長良川水系の豊かな自然に育まれた  
まるまるとした円空さといも

生産者のこだわりが詰まった一品を届けたい。  
地域の一員として地域の未来を見守るJA



JAぎふ / JAにしみの / JAいび川 / JAめぐみの / JAとうと / JAひがしみの / JAひだ

— 岐阜県下JAは農業のメインバンクです —